



Vol. 6

カヌーで眺めた島の自然

～エコツアーでみつけた
「海から見た宮島」～

NPO法人ちゅうごく
環境ネット
理事長 福本 健



広島湾に浮かぶ宮島（広島県廿日市市）は、瀬戸内海屈指の観光地です。広島都市圏に住む人にとっても、初詣やお花見、花火見物、紅葉狩り、かき祭り、もしくは学校の遠足等でなじみの深い場所ですが、多くの場合、栈橋から神社までとその周辺、一部分しか訪れていません。宮島は古くから多くの信仰を集めた土地で、自然と一体となった独特の景観を有しています。最近文化財だけでなく自然に親しむ取組も多くの立場の方が、様々な手法で行うようになりました。

私たちは、環境に取組む市民活動団体（NPO）ですが、会員の多くは他の団体等においても活動している人がほとんどで、「団体の名前が直接表に出て何かイベントを実施する」よりも、中間支援やネットワークとして、何かに取組む人・団体に対し、アドバイスや提案を行ったり、他の人が取り組むことが難しいテーマについて、試行してみるといったことが多いのが特徴です。今回は宮島の自然を、洋上からカヌー（シーカヤック）で巡るエコツアーにチャレンジしてみることにしました。

（この取組は「ひろしま地球環境フォーラム」の助成により実施しました）

11月21日、JR宮島口に集まったのは、日頃、海に親しむ機会を提供している専門家からほとんど海や環境に関して活動経験のない親子連れまで、多様な分野からの24人です。宮島の対岸にはカヌーが体験できるお店があり、カヌーが初めての人でも宮島を海の上から楽しむことが出来ます。簡単なレクチャーの後、参加者は早速カヌーに乗り込んで、一路、宮島を目指して漕ぎはじめました。



パドルさばきに全員が慣れた頃、宮島の、神社からだいぶ離れた広島大学の実験所の近くに接岸すると、実験所で宮島の植物を長年研究されている豊原先生と実験所のスタッフが待って下っていました。ここからが今回の特徴。先生から宮島の植物相が特別なことや、それを遠くから見た時に、どのようになっているかを、わかりやすくレクチャーしていただきました。普段カヌーから宮島をたくさん見てきた、カヌー体験のお店に人も「普段見ている宮島やその植物も、きちんと学んで理解するチャンスは初めて」と言っていました。

レクチャーが終わり気持ちもほぐれてきたのか、みなさんお腹がすいてきた様子。海岸に戻って、渡ってきた対岸の大野側を見ながら、お弁当や温かいスープを頂きます。

午後、今度は宮島の周囲をさっき聞いた話を思い出しながらカヌーで巡ります。田畑が少なく、人の手があまり入っていないことから、瀬戸内海島嶼部の古い植生がみられる宮島ですが、80年代の山火事の影響が今の残り、山肌にはシダが生い茂る……。豊原先生のそんな話を思い出しながら、海から見上げる宮島は、普段と違って見えます。

宮島の周囲を少し廻った後、夕方になる前にそのまま対岸にカヌーで戻りました。

参加者一同、ケガや脱落者もなく、少し疲れたものの、さわやかな顔で、1日のプログラムが終了しました。今後こんな「エコツアー」が本格的に実施されるようになると、もっと多くの幅広い世代にとり、海が身近になるのではないのかなぁと思いました。

NPO 法人ちゅうごく環境ネット

730-0051 広島市中区 大手町1丁目5番31号

ひろしま市民活動ネットワーク HEART to HEART 内

電話番号 080-1948-0723 FAX 番号 082-299-5181

ホームページ <http://cknet.s75.xrea.com/>

E-mail cenet@diary.ocn.ne.jp